

第十一番 大楽院（十一面観世音菩薩）

＊宗 派 真言宗

＊御本尊 十一面観世音菩薩

＊開 山 恒貞親王の御次子恒僧都 大同四年（八〇九）

中興開山 範誉僧都 延宝五年（一六七七）

＊現住職 第二十九世 日吉隆絵

＊〒二一〇〇〇一 川崎市中原区上丸子八幡町一五三二

＊☎〇四四一四一一七三二七

＊東急東横線・東急目黒線「新丸子」駅下車 改札出て左へ直進 徒歩五分

真言宗豊山派に属し奈良県の総本山長谷寺の直末で大同四年に恒貞親王（淳和天皇五十三代在位八二三―八三二皇太子）の御次子、恵恒僧都の開山と伝えられている。降つて延宝五年に範誉僧都の代に中興された。『新編武蔵風土記』に依れば本堂の他にいくつかの堂宇を有し、現在以上の規模であつたようである。近年堂宇の老朽化が著しくなつたので、昭和四十二年より改修に着手し数年後に第一回の工事を終了して境内外の景観を一新したが、時代の流力を考慮し本堂以外の堂宇の再新築を平成三年より着手し、檀信徒の協力を得て平成十三年五月末で客殿齋場・庫裡・書院・手水舎等全てを完了した。境内にはこの他、新四国お砂踏み霊場・川崎七福神の恵比寿堂・水子地藏堂・六地藏堂、境外墓地に閻魔堂を有し、また玉川八十八ヶ所第十八番札所として多くの参詣者を集めている。日吉山神宮寺と号す。

ご 詠 歌

あらたかに

まいりておがむ

じんぐうど

うらにきこゆる

まつもとのせと



（第11番 大楽院）